



Springtime Yievie Wu

This month's topic is Spring! The first day of Spring is called the vernal equinox. In Latin, 'vernal' means Spring and 'equinox' means 'equal night'. You may be wondering why 'equal night'? The idea is that the first day of spring is exactly 12 hours of daylight and 12 hours of darkness. However, this is rarely true. There is always a time when it is exact, but experts say it usually occurs before the vernal equinox. This year, the first day of Spring is to be observed on March 20! Do you feel like Spring is almost here? No, right? It still feels like it's winter in Higashikawa! There is still snow on the ground! For those of us living in Hokkaido, we have to wait a little longer for Spring to come! Are you as excited for Spring as I am? I can't wait for warmer weather! I will be spending the next few weeks snowboarding a little more before the snow melts away. Enjoy the last few weeks of Winter everyone!

【ちょっと豆知識】 宮地晶子

springという言葉が出てきました。この言葉のイメージは「生え出る」「飛び出す」「湧いてくる」。勢いを感じる言葉です。草木の芽が萌え出るから「春」。「バネ」という意味では「ベッドのスプリングが固い」など聞いたことがありますか。そして「泉」。これが熱いとhot spring、そう「温泉」。まさに湧いてくるイメージですね。

春 イーヴィー・ウー

今月の話題は春です。春の最初の1日は春分と呼ばれます。ラテン語で、「vernal(バーナル)」とは春を、「equinox(イクイノックス)」は「等分な夜」を意味します。「夜が等分」って?と思うかもしれませんが、これは春の最初の一日が、ちょうど12時間明るくて12時間暗い、ということ。とはいえ、これはめったにありません。確かにぴったり半分という瞬間はあるにはありますが、専門家によれば、それはたいてい春分の日より前だそうです。今年の春分の日は3月20日ですね。でも春が来る感じしますか。全然ですよ。東川は冬そのもの。まだ雪もあります。北海道に住む私たちにとって春はまだもう少し先です。みなさんも私と同じくらい春に向けてウキウキしていますか。暖くなるのが待ちきれませんね。雪が解けるまでの2、3週間、私はスノーボードを楽しむつもりです。みなさんもあと少し冬を楽しみましょう!

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第127回

始めるなら今!

冬休みの学習会でのこと。数学ばかり解いている生徒に「英語も勉強してるかい?」と声を掛けると「いいえー、数学ばかりです。でも数学やっていくにしても、結局は英語が出来ないと、どうしようもないんですよー」。うーむ、良くものわかった生徒だ。やっぱ英語でしょ。

最近、金融(finance)とIT技術(technology)を結びつけた「fintech(フィンテック)」という言葉が盛んに聞くようになりました。スマートフォンやタブレット端末を

使ってクレジット決済、会計、振り込みなどができるという技術です。

会計システムにフィンテックの技術を取り入れた道内企業が新聞で紹介されていました。年商2億円というその経営者は、タブレット端末で経理業務をするようになり、経理担当者を置かなくなったそうです。アメリカではフィンテック技術が普及して、もはや「銀行窓口1年以上行ってない」という人も多いとか。

米国マイクロソフト社の創始者、ビル・ゲイツは「20年以内には、今人間が行っている仕事の47%は機械が取って代わる」と言います。今、小学校に通う子供たちが大学を卒業するころには、今ある職業は存在しないと聞いた人もいます。そんなふうに聞くと、人が必要とされなくなり、英語も不要に…なんて思ってしまうかも。でも、そんなことはありません。fintechが英語であるように、新しい技術や情報は英語圏発のものが多く、そして結局最後は人対人です。英語の有用性は変わりません。春が来ますよ。始めるなら今!です。